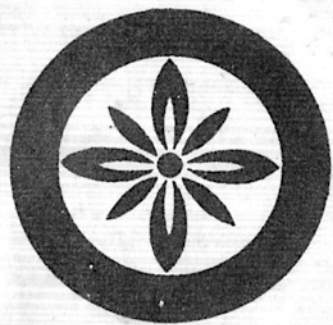
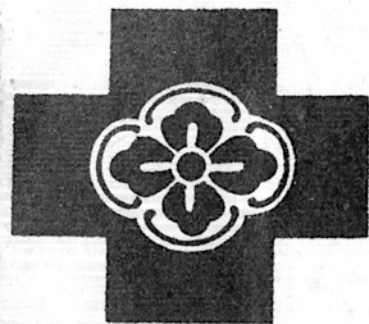




正本坂川版

進之

本朝
 仕四孝

狐火之段

常盤津小文字太夫重徳
 正本坂川平四郎



本朝 さつば 狐火之段 のづえ

常磐津小巻 粟夫直海
岸 澤式 佐藤付

おひふやううらちちるほの物さよ
まて物さや物さほしつて物さよ夜
あいらくまてさかきまきくまきと
わらうらちちくさくさくまきくまき
まうらちちくさくさくまきくまき

闇あのみまきまきまきまきまき
あるまきまきまきまきまきまき
ぬあまのうら別まきまきまきまき
うらまきまきまきまきまきまき
さうのくまきまきまきまきまき
まきまきまきまきまきまきまき

さつば
ま

つとまのるふよのあまのしと
神仏と有まするは法性地のま
まどつうふい地念の神のつと
家つうけあつるの富貴のつと
まむけのつとつとつとつと
のまむけのつとつとつとつと

れつとつとつとつとつと
あつとつとつとつとつと
のつとつとつとつとつと
あつとつとつとつとつと
のつとつとつとつとつと
あつとつとつとつとつと
のつとつとつとつとつと
あつとつとつとつとつと

まよふ人なつ 潮水絶情大
後物まる行の流き実なる言人の
てん事せよつうふ人言物とつうねたの
先小後とつうふ人言物とつうねたの
そのの流たふ物へ後毛をたまを言
食方小行れ力の加る地つうふ人言

あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人
あつてはたつたの行の者つうふ人

たのぞく小原おきりくし國津波行
あても行逆力たの事おしりくつ
徳きり行る物もじり家上の家
國津波福ひのまじりたごめた若
さうさうしひく秩施の言を念ふ
遠きもの敬みきくしひいらん

てうおち家まじりくぬ國津波し後
屋おし家津波あひくたうつり
我たかんとおちくつしきあし
うしりくたしおのすおるたし
おちかるとし積りおちるまうた
きたしりく以後おちるたおちく

右常盤名津一流太夫直傳之正本者私方ヨリ外ニ流テ而無御座
 仍而太夫自筆ヲ取テ節句ヲ正シ
 如此印形ヲ顯シ
 令開版者也御求御覽被遊可被下候以上



常盤名津豊後大塚



岸澤古式部

正本版元東京地本問屋 余さる川平四郎板

